

科目名	基礎看護学	単位 (時間)	10 (300)	28・29期生	DP
担当講師名	第二看護学科 全教員			1年	1・2・3・4
科目設定理由	<p>看護は人間を理解することで必要な支援が明らかになる。そのため、人間・看護・健康・生活・医療の基礎を学び発展させることで、専門職としての資質を身につけることができる。基礎看護学は、他の専門分野の基礎となる基礎的理論や基礎的技術を学ぶ位置づけとし、さまざまな健康状況における対象の理解と、臨床判断能力や倫理的判断を養うための基礎的能力を養う内容とする。そこで、各科目は演習を強化した組み立てとし、シミュレーションやICTを活用した学習方法を取り入れるように設定した。</p> <p>看護学概論は、看護の基本概念を学ぶとともに、看護の歴史の変遷や社会における看護の役割、機能の重要性を認識できるようにし、看護の概念や看護の本質について理解する。基本技術Ⅰは、看護技術の概念や、良い関係構築のためのコミュニケーション技術を学び、患者の安全を守るための安全確保や感染防止の基本技術を理解する。また、患者の身体状況を把握できる基本的知識とフィジカルアセスメントの技術を身につけ、健康状態を評価しケアの内容や方法に結び付けていく能力を養う。基本技術Ⅱは、看護過程の展開を通して、対象の健康障害を理解し、願いに沿った看護を実践するため知識と実践力の基礎を習得する。生活援助技術は、対象の安全で安楽な環境を整え、日常生活を支える基本となる看護技術を学び、習得することで実践力の向上を目指す。また、看護の対象を生活者として捉え、その日常生活に合わせた援助をするために必要な看護技術の基本を学ぶ。臨床看護総論は、健康障害をもつ対象の状態に合わせた処置・検査時の看護を学ぶ。また、侵襲の高い医療処置について、医療安全を意識した安全かつ安楽に実践できるための技術を習得する。看護倫理は、看護専門職の育成には看護実践力はもとより、多様な価値観を有する対象への理解を基盤とした倫理的看護実践を成し得る人材が求められることから、科目として教育内容を充実させる。</p>				
科目構成	科目名	看護学概論	基本技術Ⅰ	基本技術Ⅱ	生活援助技術Ⅰ
	単位時間	1単位 20時間	1単位 30時間	1単位 30時間	1単位 30時間
	学習範囲	1. 看護とは 2. 看護理論と主要概念 3. 看護の対象と健康 4. 社会と看護	1. 看護技術の概念と看護記録 2. コミュニケーション 3. 安全確保の技術 4. 感染防止の技術 5. フィジカルアセスメント	1. 看護過程とは 2. 患者のより良い状態を目指し根拠に基づいた看護	1. 環境を整える技術 2. 活動と休息の援助技術
	科目名	生活援助技術Ⅱ	生活援助技術Ⅲ	臨床看護総論	看護倫理
	単位時間	1単位 30時間	1単位 20時間	1単位 30時間	1単位 20時間
	学習範囲	1. 清潔・衣生活の援助技術	1. 食事の援助技術 2. 排泄の援助技術	1. 経過別看護 2. 呼吸・循環を整える看護 3. 検査・処置時の看護 4. 与薬時の看護	1. 現代社会と倫理 2. 医療をめぐる倫理の歴史的経緯と看護倫理 3. 検査・処置時の看護 4. 看護実践における倫理問題への取り組み
	科目名	基礎看護学実習			
	単位時間	2単位 (90時間)			
学習のねらい	<p>基礎看護学実習は、各看護学実習の基盤として位置づけられる。基礎看護学で学んだ看護の概念・目的・対象・方法論をもとに、対象とかかわりながら、健康障害のある対象を理解する。対象の願いを捉え、対象の状態や思いに沿った看護を実践する能力を養う。また、学生自ら実践した看護体験から、看護者としての基本的態度の習得を目指す。さらに健康障害にある対象を理解し、対象の願いを捉え、対象の状態に合わせた看護実践を身につける。</p>				